

特許紹介

第28巻第5號 昭和17年5月

建築物構造法

(特許第146921號 發明者 野谷信通)

圖-1 に示す如き建築の構造法に於て、小梁 (12)、梁 (13)、柱 (14) を省略し屋根版と壁版とのみを以て垂直荷重及水平荷重に抵抗し得るやう 鉄筋コンクリート版に特殊の考案を施したものである。即ち該版は之を方形波状モルタル版とし、圖-2, 3 に示す如く、波の稜線に垂直なる兩側に在りては其の一方は端邊に於て他方は隣版との重合部を避けて稍と内側に於て何れも連結ボルトを貫通せしむる穴 (10') を設けたる補強凸骨 (1') を形成し、又稜線に平行なる兩側に在りては、版端を曲げて隣版と密着せしめるやう、平面の縁 (2') (9') を形成せしめるのである。

圖-1.

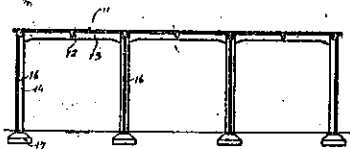


圖-2.

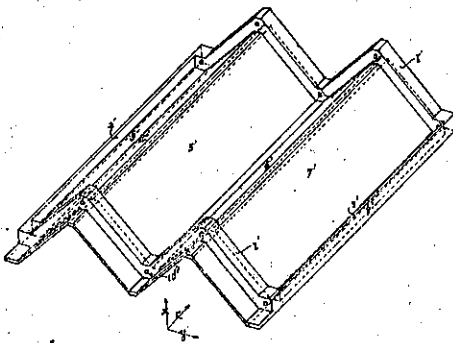
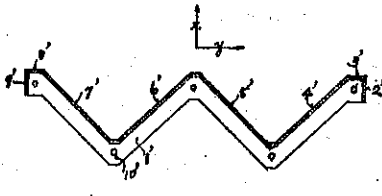


圖-3.



道路舗装材料の製造法

(特許第147031號 發明者 鈴木健太郎 安富正秀)

簡易なる操作に依つて耐摩性、耐熱耐寒性及防水防火

性に富む舗装材料を得んとするもの。アスファルト、ピッチ、コールタール等の瀝青質物の1種乃至3種に配合剤として黒色にして炭素約10%内外を含有せる極微粉の珪酸質物所謂黒土又は工華と硫黄及石灰の適量を添加混合し適量の温度例へば約150°Cに加熱し、熔融状となせるものを其の熔融せる状態に於て別に土壤に適量のベントナイト粉末及セメントを添加し良く混合攪拌せし混和物に徐々に混和し等温となる迄混練せしめる方法である。

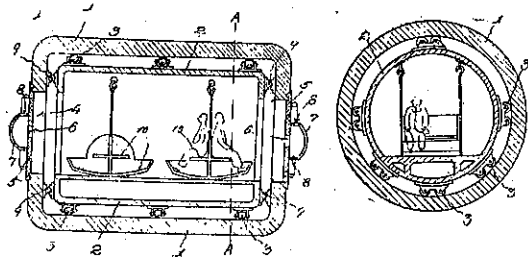
回轉式防弾室

(特許第147608號 發明者 田中綱)

爆弾其他の爆發又は地震等による衝撃を受けた時、外圓筒(1)は直ちに轉動して衝撃を緩和し、内部の居室(2)は外圓筒が如何に轉動しても常に正位を保つやうに圖-4, 5の如く設計したものである。

圖-4.

圖-5.



岩心磁氣方位測定装置

(特許第147734號 發明者 岩佐茂作、吉塚正志)

石油又は石炭等の探査に當り試錐岩心の地質的考察の必要なる事は勿論であるが、従來は多數の掘鑿孔よりの採取岩心に付き調査せる結果から地下構造を推定した。然るに近時殊に米國にあつては特殊岩心に付き其の磁氣方位を認定することにより採取岩心の地下に於ける方位を決定し、少數の試錐に依り地下構造を的確に推定する方法が研究されてゐる。即ち磁性物質を含有する岩心の磁氣方位を測定することにより其の成層面との關係を知り延いては地下構造例へば脊向斜軸の位置を推定する等の如し。而して米國に於ける此種装置は何れも岩心の磁氣作用に依り懸垂せる磁針を振りし之を觀測する如き構造のものである。

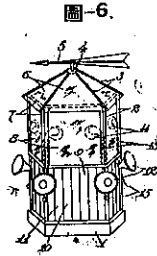
本發明の装置に於ては、岩心の磁氣方位を動電氣的に

測定せんとするもので、即ち測定せんとする岩心と既知磁氣方位を有する物體とを同一軸にて回轉せしめ、之等兩物體より發生する磁界により固定線輪中に誘發する兩起電力間の關係を計測する事により岩心の磁氣方位を決定せんとする装置で、之に依り岩心の磁氣方位のみならず磁氣の強さをも簡単に測定し得るものである。

防護看視舎

(特許第 147027 號 發明者)
(特許權者) 森久三郎

圖-6 に示す如きもの。但し天井(6) 及び上壁(8) は硝子張りである。



石炭水洗液より特殊セメントを製造する方法

(特許第 147031 號 發明者)
(特許權者) 安部源三郎

石炭を水洗する際に生成する廢液たる石炭水洗液より其の含有性分を石灰を以て沈澱せしめて得た泥漿(礬土、珪酸及石灰を主成分として含有する)を乾燥し、然る後適當なる燒成溫度(例へば 700~800°C)にて該泥漿自體の含有する微粉炭の燃焼力を利用して燒成し、以て特殊セメントを製造するもので、農業漁業又は上水道水源等に有害なる石炭水洗液の一用途を與へるものである。

土壤硬化煉瓦又は土壤コンクリート路床の形成法

(特許第 148020 號 發明者 (特許權者))
(渡野貞治郎 山下藤治)

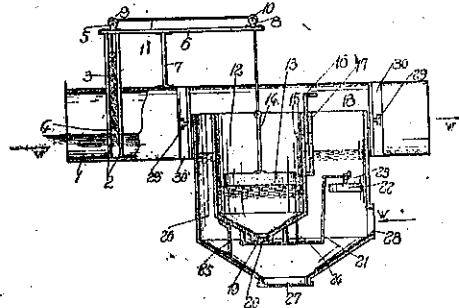
砂分 75% 重量以上を含有する一般土壤容量 100~120 分に對し、ポルトランドセメント 3.0~3.5、消石灰 7.0~8.0、珪酸白土又は珪藻土 2.0~5.0 の容量割合より成る混合劑を 10~20 分の範圍量に於て加へ、(コンクリート路床の場合は更に砂利を附加し)水にて濕潤し混合機中に於て蒸氣を吹込みつゝ其の溫度 60°C 以上に於て攪和攪押し、濕氣の適當なる間に毎平方時に付 2000 封度内外の壓力の下に壓搾成型するか又は囊に擱置したる路面又は床面に均し、之をスタンピングを以て壓搾せしめる方法で、普通煉瓦又普通コンクリート路床よりも低廉にして堅牢なるものを作らんとするものである。

灌溉水量調節装置

(特許第 148106 號 發明者)
(特許權者) 阿部宗太

取水樋より水田に入る灌溉用水の量が所要のもの以上となつた時、或は其の量を調節する必要の生じた時に取水樋の内部に設けた閉閉扉を自動的に閉閉して流入水を阻止せしめて之を自由に調節せんとする方式に基づく一設計である(圖-7)。

圖-7.



バルブ廢液による道路舗裝乳劑製造法

(特許第 148334 號 發明者 上野 清)
(外 2 名 特許權者 兼總)

バルブ廢液中の灰分リグニンスルホン酸及單糖類の乳化性を利用し質均等にして安定性、滲透性に富む乳劑を安價に製出し得べからしめたものである。即ち亜硫酸法によるバルブ廢液を蒸發し亜硫酸其他の揮發性物質を驅除すると同時に比重約 1.25 に相當するに到る迄濃縮し、アルカリで中性又は弱アルカリ性とした後、水にて約 20 倍に稀釋し其の 100 容量を 90°C に熱し置き又別に舗裝用アスファルト 100~140 容量を 110°C に熱し置き、兩者を乳化機にて回轉混和するのである。

地 馴 し 機

(特許第 148370 號 發明者 原照伸太郎)
(特許權者 株式会社不二製作所)

地馴し盤の方向及角度を簡單且つ容易に變更して所望の位置に於て簡単に固定する事を得るやう設計したものである(圖-8 参照)。回動環(15)の中心を樞軸(16)に依り回動自在に樞着し、回動環の背面には L 字形に屈曲したる地馴し盤取付腕(18)を装着して其先端に軸(19)を中心として擺動する如く地馴し盤(20)を樞着する。其樞着部の上方に小孔(21)(21)を穿ちたる調整杆(22)を背側に向けて突設し、其小孔に止ピン(23)を嵌挿して地馴し盤を所望の角度に於て固定するやうにす

圖-8.

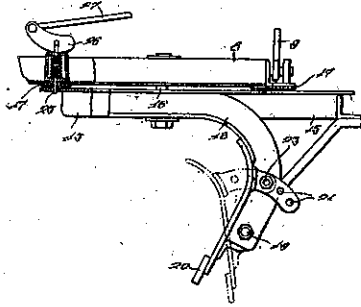
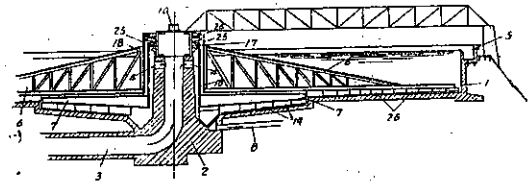


圖-10.



圓滑化を圖つたもの。

る。又回動環 (15) には數個の小孔を穿ち、支持棒に裝置したる止ピン (25) を之に嵌挿するやうにし、操作杆 (27) を引けばカム (26) に押されてピンが離脱し、回動環が自由に回動し、操作杆を放せば彈機 (28) の作用に依りピンが再び之と對應位置にある小孔 (24) に嵌入して回動環を其状態に固定し、以て地馴し盤を任意の方向に固定し得る如く爲したものである。

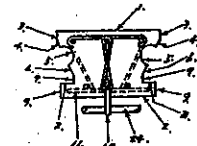
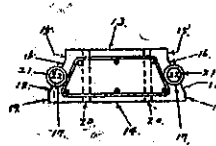
鐵筋コンクリート矢板

(登録第 306861 號 出願公告 昭 10-5646 號)
 考案者 (實用新案權者) 成田勇作

圖-11 及 12 に示す如き二種の矢板を以て一組となしたもので、矢板相互の密接を圖つたもの。

圖-11.

圖-12.

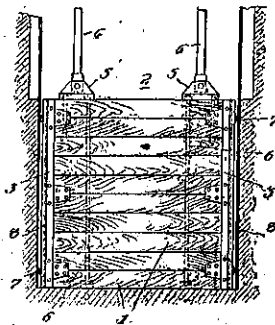


(附) 登録實用新案
 水門用扉

(登録第 305590 號 出願公告昭 13-4165 號)
 考案者 (實用新案權者) 藤井庄吉外 1 名

木材を主體としたもので圖-9 に示す如き構造のものである。

圖-9.

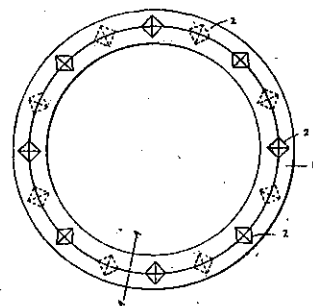


構材接合用金具

(登録第 307280 號 出願公告 昭 16-9728 號)
 考案者 (實用新案權者) 堀重敏

圖-13 参照。断面四面菱形を爲す環片 (1) の上下両面に多數の突起 (2) (3) を構成し、上面及下面に於ける突起の位置を互違ひと爲したもので、構材に打込む事を容易且つ確實ならしめたもの。

圖-13.



沈澱装置

(登録第 305797 號 出願公告 昭 16-5616 號)
 考案者 島村敏一 實用新案權者 大塚 廉

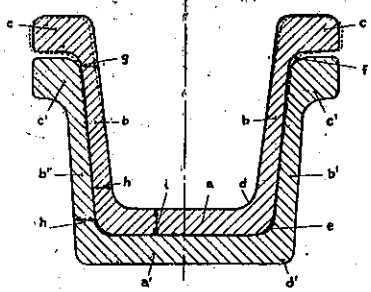
圖-10. 槽の中央柱 (2) を以て支持したる外側の第一熊手装置 (6) 及内側の第二熊手装置 (7) を有し、共通電動機により第二熊手装置を第一のものより高速度を以て回轉せしむるやう設計したもので、中央部に過量の沈澱物が堆積するが如き事無からしめ以て装置運轉の

坑道及其他の地下通路のアーチ支へ装置

(登録第 307452 號 出願公告 昭 16-9947 號)
 考案者 (實用新案權者) ハイリツヒ トウセーント

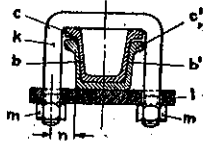
圖-14. 内側區分片 (c) の側壁 (b) (b) は外側區分片 (c') の側壁 (b') (b') よりも大なる傾斜を有せしめたも

圖-14.



ので、二個の區分片を互に嵌合して之を壓力下に押壓せる時(圖-15)、兩區分片の側壁と底壁とが全面的に互に接觸し得るやうにしたもの。

圖-15.



二重式ストレーナー

(登録第 307803 號 出願公告 昭 16-9924 號)
(特許管 平山博康 貴州新築権者 利根地下工業所)

圖-16 参照。揚水管 (1) の下方に、多数の透孔 (2) 及捲線 (3) を備へたるストレーナー (4) を設け、其の内側に内管 (5) を挿入し兩管の上部を連結部 (7) に依り密閉したもの。ストレーナーを経て内部に水と共に入る砂は、内管 (5) を下行せしめられるが故に、ストレーナーの内部が土砂の沈積によつて水の浸入を阻止するに到るが如き虞がない。

圖-16.

